

KUDODE

クドケ

要注目の実力派 独立時計師

クドケは、独立時計師ステファン・クドケが2008年にスタートさせたドイツのブランドだ。1978年生まれの彼は、グラスヒュッテの時計学校で学んだ後、グラスヒュッテ・オリジナルに入社。そこで複雑時計の開発・製作を任せられ、その後はスウォッチグループの修理業務で経験を積んだ。

「デビュー当時はユニタス製ムーブメントをスケルトナイズしてドクロや蛸の装飾を加えていましたが、2018年にはグラスヒュッテ風3/4プレートに18世紀風の彫金を施した大型テンプ受けを据えた初の自社キャリバーを発表。昨年のGPHG(ジュネーブ時計グランプリ)で“小さな針賞”を受賞し、今後が楽しみな時計師です」

R



“今旬”
GORO's TALK
時計

クドケ2ノクターン

2019年にGPHGで“小さな針賞”を受賞した新作。初の自社製ムーブメント「KALIBER1」をベースに、デイ&ナイト表示機能を追加した。12時位置の空をモチーフとしたディスクには、手彫りの彫金と3色のメッキを施し、独創的に一日を表現する。時針に組み込まれたインフィニティモチーフは、同じくムーブメントのテンプ受けの彫金としても施されている。世界限定20本。手巻き、SSケース、39mm。¥1,100,000
Kudoke / Nihombashi Mitsukoshi

WEMPE

ヴェンペ

規格をパスした 高精度ウォッチ

ヴェンペは、ドイツではかなり名の知れた老舗高級時計宝飾店である。130年以上の長い歴史を持ち、世界各国に店舗を開いている。

「ヴェンペは1938年にマリンクロノメーターの製造会社を買収し、ランゲと共にグラスヒュッテ天文台に研究機関を設けていました。2006年にその伝統を甦らせ、廃止されていた同天文台に自社工房を構えると同時にクロノメーター検定も再開。ドイツのクロノメーター検定は、ムーブメント単体で行うスイスと違い、ケーシングした状態で行うためより厳格といわれていますが、ヴェンペは自社製ムーブメントはもちろん、他社製ムーブメントもその規格に合うようリファインしているそうです」

R



アイアンウォーカー
オートマティック クロノ

新コレクション「アイアンウォーカー」は、いわゆるラグジュアリー・スポーツ・ウォッチのラインで、「オートマティック」、「ダイバー」、そしてこの「クロノ」を展開。ムーブメントは、ドイツクロノメーター認定レベルにまで自社で調整を行っている。自動巻き、SSケース、42mm。¥555,000
(10月発売予定) Wempe / Nihombashi Mitsukoshi

“今旬”
GORO's TALK
時計